

古来より伝わる  
神聖な素材  
本麻の飾り



## 京都の職人が作る本麻の工芸品

全国の神社で使用されている鈴緒<sup>※</sup>や注連縄など神事用麻製品を作っている職人による匠の技。麻は古来より神事に使われる神聖な素材として扱われております。麻の葉には魔よけとして、また神社では、けがれを祓い、神域をつくりだすための神祭具として麻が用いられています。麻の古き良き伝統を現代にも気軽に飾れるよう見直し作り直しました。

※鈴緒とは 神社の堂前に吊り下げ設置されている、お賽銭を入れた鈴を鳴らす為の縄。



### 本麻とは

本麻は国内で許可を受けた数少ない生産者により作られ茎の表皮を精製し麻の原料となる麻苧が仕上がります。その麻苧を元に100年以上続く老舗の職人によって一つ一つ手で撚り丁寧に作られています。現在ではその職人は数人しかおらず作られた物は京都の伝統工芸品として指定される札を付属することができます。



京都府伝統工芸品として指定された産地組合員の製品である。  
この札が本麻の商品には付属されます。

KYOTO

TSUNAGU WORKS